



# 玉里中通信 No.4 令和2年7月1日

学校教育目標 (た)くましく (ま)ごころあふれる (り)りしい生徒の育成 小美玉市立玉里中学校

## 通常登校再開

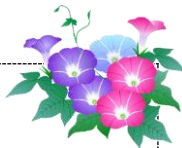
6月8日(月)に通常授業が再開し、生徒は徐々に元々の学校生活を取り戻しつつあります。朝は全クラス、静かに読書に取り組み、落ち着いた一日をスタートさせています。

マスク着用や手洗いなどの手指衛生等、基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」も定着してきました。



1学期の終業式は、8月7日に変更になり、夏休みは8月8日(土)から8月23日(日)に短縮されました。1学期の残りの期間、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、学習にしっかり取り組ませたいと思います。

## 7月の主な行事



- 1日(水) 健康アップ週間 ~7/3
- 3日(金) 学校関係者評価委員会
- 7日(火) 第1学期末テスト  
スクールカウンセラー相談日 (PM)
- 8日(水) 朝の交通安全指導
- 10日(金) 漢字検定
- 13日(月) 三者面談 ~17日(1年生は~20日)
- 17日(金) 英語検定
- 18日(土) 数学検定
- 21日(火) スクールカウンセラー相談日 (AM)
- 29日(水) 心臓検診(1年生)
- 31日(金) 学校保健委員会 玉里学園義務教育学校説明会  
授業参観 期末PTA PTA評議員会

## 部活動再開

6月9日(火)から、部活動を再開しました。臨時休業で体力が落ちていると思われる、6月9日からの週は平日1時間程度、休日2時間程度で体を慣らし、6月15日から通常の活動に戻りました。1年生は、6月11

と12日に部活動見学を行い、1週間の部活動体験を経て6月23日に正式に入部し、活動を開始しました。



部活動見学

## パソコン室での学習



本校のパソコン室は、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、整備しております。

生徒は、総合的な学習の時間において、自分のテーマについて調査活動をしたり、まとめの発表資料を作成したりしています。また、技術科のプログラムと計測・制御の学習、英語科の「自分の夢を英作文」にして画像を貼る等の学習でパソコン室を活用しています。



## 保幼小中合同引渡し訓練

6月22日(月)玉里地区合同引渡し訓練を行いました。今回の引渡し訓練は、玉里地区の市立玉里幼稚園とルンビニー学園幼稚園、玉里保育園、玉里第二保育園、玉里小学校、玉里北小学校、玉里東小学校そして玉里中学校が連携して実施しました。来年度の玉里学園義務教育学校開校を控え、玉里地区内の幼児教育施設と小学校、中学校の連携を強化することにしました。

まず、14:10に幼児教育施設が引渡しを開始、続いて小学校・中学校が14:30に引渡しを開始しました。新型コロナウイルス感染症対策で通常授業が再開されたばかりですが、突然発生する災害等の緊急事態発生に備え、安全かつ迅速に保護者へ引き渡せるよう手順や方法について確認しました。

引取りに際しては、ソーシャル・ディスタンスを確保し、アルコール消毒液による手指の消毒をお願いしました。



保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

# インターネット(SNS等)、オンラインゲームの利用に関して

6月22日の茨城新聞に、小中高校生のオンラインゲームを巡るトラブルに関する相談件数が急増との記事が掲載されました。「高額な課金に関する内容や『子どもがゲームをやめられない』など依存症が疑われるものが多い。」とありました。

「ゲーム障害」は世界中で社会問題化し、世界保健機関（WHO）が新たな依存症として認定しており、「衝動が抑えられず、日常生活よりゲームを優先し、健康に問題が生じても続ける特徴があり、学業や仕事などに重大な支障を来す症状が一定期間続くと診断される。」そうです。

臨時休業でネットやゲームをする時間が増えた生徒も多く、学習へ気持ちが向かないなどの面だけではなく、心身への影響が心配されています。

玉里中学校では、夜9時以降は携帯、スマホ、パソコンは使わないよう指導をしています。

ネットやゲーム等について、本人と利用時間の決まりを再確認したり、話し合っただけで新たに決めたりするなどをお願いいたします。

また、石岡警察署のスクールサポーターの方が来校したとき、インターネットやSNSに関係した犯罪に巻き込まれることが心配であるとして、「危険から自分を守る大事な3つの約束」を示した資料をいただきました。

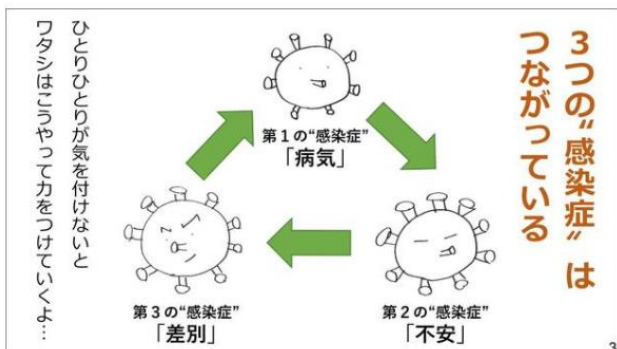
- ・SNSで知り合った人と直接会わない
- ・住所や名前など個人情報を載せない
- ・自分や友達の写真を送らない

ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

## 新型コロナウイルス感染症を題材にした道徳科の授業

6月9日（火）、研究主任の計画により、全クラスにおいて新型コロナウイルス感染症を題材にした道徳の授業を実施しました。

新型コロナウイルス感染に係る偏見や差別、いじめが社会で問題になっています。「差別や偏見のない社会の実現しようとする態度を育てること」を本時のねらいとしました。



資料として日本赤十字社の「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を活用しました。

教材提示の工夫や発問の工夫、動作化の工夫や、ワークシートの活用、感染症対策をしながらの意見交流等、各クラスとも本時のねらいの達成に努めていました。



We are One Team!!



【生徒の振り返りから】

### 第1 学年生徒

- ・コロナウイルスに関わって働いている人たちを差別せず、みんなで乗り越えていきたい。
- ・みんながみんな不安をもっていたり、我慢していたりしています。感染症に一人で闘うのではなく、みんなで協力して闘いましょう。

### 第2 学年生徒

- ・ふざけてコロナのことを言ってしまったことがあったけれど、それによって傷つく人がいると分かった。この授業でコロナに対する考え方が変わった。
- ・仕事をしてくれている医療関係者、コロナとたたかっている人は大変だと思うけれど頑張っしてほしい。今日考えたことを生活に生かしたい。
- ・差別をするのではなく、みんなが予防策をとり協力していき、コロナにかかってしまった人がいたら、がんばれ、大丈夫だよと一声かけてあげ話をきいてあげる。
- ・あいつのせいだとか差別をしないで、みんなで励まし合うこと。

### 第3 学年生徒

- ・これからも感染症の影響は続くけれど、デマに惑わされず、冷静に判断することを心がけていきたい。
- ・最前線で働いてくれる人への感謝を忘れず、コロナの患者さんだった人に対する差別などをしない。
- ・一人一人が協力し合うことや励まし合うこと、笑顔でいることで、いつか普通の生活を送れるようになると思う。